

2016 Wako's

Super Kart Race Report

開催コース／富士スピードウェイ（静岡県）
主催／日本スーパーカート協会
開催日／4月2日（土） 天候／曇り
路面状況／セミウェット



SK1-Winner
岡島秀章（ファイジ&MSYガレージ）



SK2-Winner
川島浩（E.クラモネ）



SK4-Winner
桜井晋吾（ガレージ茶畑）

WAKO'S

スーパーカートカップ第2戦

予選はまだ雨が残っていたことで完全なウェット。そのため、各マシンはレインタイヤを履いてのタイムアタック敢行となった。

かわって決勝レース。雨もあがり他カテゴリーのレースもあつてか、路面コンディションは徐々に回復傾向に。それでもレコードライン以外を走ると大幅にグリップを失うという難しいレースになる。

SK1では岡島、吉野、荒木の三つ巴となり、最後に岡島が大逆転。NSFエンジンを搭載して2年、ようやく待望の初勝利を手にした。

SK2およびSK4では開幕戦ウィナーの川島、桜井という2人のディフェンディングチャンプがそろって二連勝目。共に次戦の筑波戦も勝ち三連勝を目指すとする。



①



②



③

① ホールショットでポールtoウィン。文句なしの内容で初勝利を挙げた岡島。難しいコンディションでのバトルはお互い信頼する選手同士のなせる技だと言う。② SK2 川島は予選トップもホワイトラインカットで4番手へ降格。しかしきっちりと勝ち星をゲット。③ SK4 名手桜井は珍しく1コーナーでスピンし他マシンと接触。シャフトが曲がるダメージを負うのだが、リカバリー後は暴れるマシンを抑えて二連勝目を手にする。